

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社秋川牧園 上場取引所 東
 コード番号 1380 URL <http://www.akikwabokuen.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋川 正
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 原田 良人 TEL 083-929-0630
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	6,417	10.8	265	181.2	288	137.9	169	136.6
2020年3月期	5,790	3.0	94	△4.1	121	△7.3	71	△46.9

(注) 包括利益 2021年3月期 207百万円 (259.6%) 2020年3月期 57百万円 (△59.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	40.77	—	9.3	5.5	4.1
2020年3月期	17.23	—	4.2	2.4	1.6

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 -百万円 2020年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	5,378	1,920	35.7	460.17
2020年3月期	5,082	1,733	34.1	415.56

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,918百万円 2020年3月期 1,732百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	785	△332	△144	926
2020年3月期	480	△456	22	618

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	20	29.0	1.2
2021年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	41	24.5	2.3
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		32.1	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,223	1.1	47	△64.9	79	△45.2	50	△43.3	12.14
通期	6,778	5.6	146	△44.8	210	△27.2	130	△23.5	31.18

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	4,179,000株	2020年3月期	4,179,000株
2021年3月期	9,877株	2020年3月期	9,877株
2021年3月期	4,169,123株	2020年3月期	4,169,123株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	6,383	11.0	257	118.9	309	149.8	143	86.1
2020年3月期	5,751	2.6	117	3.8	123	9.9	77	△40.6

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期	34	38	—	—
2020年3月期	18	47	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
2021年3月期	4,632		1,775		38.3		425	76
2020年3月期	4,415		1,615		36.6		387	55

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,775百万円 2020年3月期 1,615百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	3,213	1.2	88	△36.9	61	△34.7	14	71
通期	6,758	5.9	205	△33.8	133	△6.5	32	13

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2020年4月1日～2021年3月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費を中心に経済活動が急速に収縮し、その後の段階的な経済活動の再開により持ち直しの動きがみられたものの、2021年1月には再び緊急事態宣言が発出されるなど、依然として厳しい状況が続いております。

その一方で、感染予防意識の高まりにより内食及び宅配需要が拡大したため、当社グループでは生活協同組合及び宅配会社を主な販売先とする生産卸売事業と、宅急便をメインとして広く国内の消費者にお届けする当社の直販事業の双方において、売上高は増加いたしました。

利益面につきましては、売上高の増加要因に加えて、冷凍食品工場及び鶏肉一次処理場の生産性向上、生産子会社における鶏卵の生産成績の改善などにより大幅な増益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、64億17百万円(前年同期比10.8%増)、営業利益は2億65百万円(前年同期比181.2%増)、経常利益は2億88百万円(前年同期比137.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1億69百万円(前年同期比136.6%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(生産卸売事業)

生産卸売事業につきましては、主な販売先である生活協同組合及び宅配会社において、新型コロナウイルスの影響で需要が拡大したため、鶏肉及び冷凍加工食品を中心に売上高は増加いたしました。

利益面につきましては、売上高の増加要因に加えて、冷凍食品工場及び鶏肉一次処理場の生産性向上、生産子会社における鶏卵の生産成績の改善などにより大幅な増益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、49億84百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は5億59百万円(前年同期比46.2%増)となりました。

(直販事業)

当社の食を中心とした安心・安全な食品を全国の個人の消費者に直接お届けする直販事業につきましては、新型コロナウイルスの影響で、自社便と宅急便配達の双方について、売上高は増加いたしました。

利益面につきましては、会員拡大に向けた会員募集費の増加がありましたが、売上高の増加要因に加えて、ピッキング及び配送の効率化などにより増益となりました。

この結果、直販事業の売上高は、14億33百万円(前年同期比35.3%増)、営業利益は45百万円(前年同期比47.8%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、前年同期に比べ2億96百万円増加して53億78百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加(3億8百万円)、商品及び製品の増加(1億12百万円)、及び仕掛品の減少(1億54百万円)等によるものです。

(負債)

負債につきましては、前年同期に比べ1億9百万円増加して34億58百万円となりました。これは主に、流動負債その他の増加(1億18百万円)、未払法人税等の増加(66百万円)、及び長期借入金の減少(77百万円)等によるものです。

(純資産)

純資産につきましては、前年同期に比べ1億86百万円増加して19億20百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加(1億49百万円)によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前当期純利益が2億76百万円(前連結会計年度は1億16百万円の純利益)となり、減価償却費(3億76百万円)、長期借入れによる収入(2億50百万円)、たな卸資産の減少額(41百万円)等から、長期借入金の返済による支出(3億66百万円)、有形固定資産の取得による支出(3億35百万円)、法人税等の支払額(65百万円)等を控除した結果、前連結会計年度末に比べ、3億8百万円増加し、9億26百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は7億85百万円(前連結会計年度は4億80百万円の獲得)となりました。

これは主として、税金等調整前当期純利益(2億76百万円)、減価償却費(3億76百万円)、たな卸資産の減少額(41百万円)等から、法人税等の支払額(65百万円)、利息の支払額(11百万円)等を控除した結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3億32百万円(前連結会計年度は4億56百万円の使用)となりました。

これは主として、有形固定資産の売却による収入(6百万円)等から、有形固定資産の取得による支出(3億35百万円)等を控除した結果によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億44百万円(前連結会計年度は22百万円の獲得)となりました。

これは主として、長期借入れによる収入(2億50百万円)等から、長期借入金の返済による支出(3億66百万円)等を控除した結果によるものであります。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、変異種の問題もあり、依然として出口の見えない厳しい情勢が続いております。その中で、ベーシックな食材の提供という社会的責任を担う当社グループは、新型コロナウイルスに関連する様々なリスクに的確に対処し、引き続き安定的な事業活動を確保することが、当面の最重要課題であると考えております。

その上で、2021年4月からスタートした新・中期計画では、当社グループのブランド力と成長力のさらなる向上に向けて、4つの基本戦略を柱に様々な課題に取り組んでまいります。

(4つの基本戦略)

- ① F A R M 進化戦略～生産、加工、販売などの機能をさらに進化させます。
- ② ファン化戦略～知名度向上と秋川牧園ファンを増やす取り組みを進めます。
- ③ 成長基盤強化戦略～さらなる成長に向けて、人、設備、ITなどの基盤を強化します。
- ④ S D G S 戦略～積極的なチャレンジをブランド力と成長力の向上につなげます。

次期の業績の見通しとしましては、売上は宅配需要の拡大により、生産卸売事業・直販事業ともに増収を見込んでおりますが、利益面につきましては、直販事業における会員募集費の積極的な投入や飼料価格の高騰の影響により、減益の見込みとなっております。予想数値は、売上高67億78百万円(当連結会計年度比5.6%増)、経常利益2億10百万円(当連結会計年度比27.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1億30百万円(当連結会計年度比23.5%減)となっております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重視し、かつ、秋川牧園ブランドの確立と中長期的な成長に向けての積極的な投資と堅実な財務体質を両立することを基本方針としております。

当期(2021年3月期)につきましては、上記の方針を踏まえ、1株10円の配当とさせていただきます。また、次期(2022年3月期)につきましては、上記の方針を踏まえ、1株10円の配当を継続させていただきます。また、

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	618,608	926,888
受取手形及び売掛金	728,937	702,967
商品及び製品	161,995	274,925
仕掛品	318,976	164,305
原材料及び貯蔵品	75,900	78,173
未収入金	120,437	119,352
その他	24,326	47,079
貸倒引当金	△4,085	△3,390
流動資産合計	2,045,096	2,310,301
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,598,070	2,686,263
減価償却累計額	△1,546,537	△1,625,618
建物及び構築物(純額)	1,051,533	1,060,644
機械装置及び運搬具	1,769,433	1,822,299
減価償却累計額	△1,229,053	△1,339,693
機械装置及び運搬具(純額)	540,380	482,606
土地	1,029,598	1,022,570
建設仮勘定	30,984	64,077
その他	340,159	346,649
減価償却累計額	△230,836	△230,714
その他(純額)	109,322	115,934
有形固定資産合計	2,761,819	2,745,833
無形固定資産		
のれん	19,761	16,113
その他	28,830	25,381
無形固定資産合計	48,592	41,494
投資その他の資産		
投資有価証券	99,621	152,651
長期貸付金	11,160	8,191
繰延税金資産	93,497	100,260
その他	22,971	19,762
貸倒引当金	△394	—
投資その他の資産合計	226,855	280,864
固定資産合計	3,037,267	3,068,193
資産合計	5,082,363	5,378,494

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	390,567	399,605
短期借入金	1,048,378	1,009,341
リース債務	5,420	7,129
未払法人税等	36,009	102,757
賞与引当金	36,892	38,900
その他	295,663	413,752
流動負債合計	1,812,932	1,971,486
固定負債		
長期借入金	1,196,795	1,119,117
リース債務	18,011	21,019
繰延税金負債	7,683	5,675
退職給付に係る負債	252,589	275,532
役員退職慰労引当金	60,974	65,527
固定負債合計	1,536,054	1,486,872
負債合計	3,348,987	3,458,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	553,441	553,441
利益剰余金	440,261	589,388
自己株式	△5,880	△5,880
株主資本合計	1,701,972	1,851,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,562	67,405
その他の包括利益累計額合計	30,562	67,405
非支配株主持分	842	1,630
純資産合計	1,733,376	1,920,136
負債純資産合計	5,082,363	5,378,494

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	5,790,005	6,417,643
売上原価	4,380,766	4,673,139
売上総利益	1,409,239	1,744,504
販売費及び一般管理費	1,314,792	1,478,950
営業利益	94,446	265,554
営業外収益		
受取利息	234	236
受取配当金	1,182	1,243
受取保険金	3,997	227
補填金収入	15,483	18,726
補助金収入	8,542	4,838
その他	10,258	10,254
営業外収益合計	39,699	35,525
営業外費用		
支払利息	12,446	11,846
その他	505	863
営業外費用合計	12,952	12,709
経常利益	121,193	288,370
特別利益		
固定資産売却益	1,874	1,270
受取保険金	—	7,537
補助金収入	17,620	—
特別利益合計	19,494	8,808
特別損失		
固定資産売却損	669	564
固定資産除却損	5,645	2,131
減損損失	373	13,570
災害による損失	—	4,719
固定資産圧縮損	17,620	—
特別損失合計	24,307	20,985
税金等調整前当期純利益	116,379	276,193
法人税、住民税及び事業税	51,733	130,371
法人税等調整額	△7,736	△24,939
法人税等合計	43,997	105,432
当期純利益	72,382	170,761
非支配株主に帰属する当期純利益	548	788
親会社株主に帰属する当期純利益	71,834	169,973

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	72,382	170,761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,642	36,843
その他の包括利益合計	△14,642	36,843
包括利益	57,739	207,605
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	57,191	206,816
非支配株主に係る包括利益	548	788

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	714,150	553,441	389,272	△5,880	1,650,983	45,205	45,205	293	1,696,482
当期変動額									
剰余金の配当			△20,845		△20,845				△20,845
親会社株主に帰属する 当期純利益			71,834		71,834				71,834
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△14,642	△14,642	548	△14,094
当期変動額合計	—	—	50,988	—	50,988	△14,642	△14,642	548	36,894
当期末残高	714,150	553,441	440,261	△5,880	1,701,972	30,562	30,562	842	1,733,376

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	714,150	553,441	440,261	△5,880	1,701,972	30,562	30,562	842	1,733,376
当期変動額									
剰余金の配当			△20,845		△20,845				△20,845
親会社株主に帰属する 当期純利益			169,973		169,973				169,973
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						36,843	36,843	788	37,631
当期変動額合計	—	—	149,127	—	149,127	36,843	36,843	788	186,759
当期末残高	714,150	553,441	589,388	△5,880	1,851,099	67,405	67,405	1,630	1,920,136

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	116,379	276,193
減価償却費	369,381	376,231
減損損失	373	13,570
のれん償却額	3,648	3,648
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,531	△1,090
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,136	2,008
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,105	4,552
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,941	22,943
受取利息及び受取配当金	△1,417	△1,479
支払利息	12,446	11,846
固定資産売却損益(△は益)	△1,205	△706
固定資産除却損	5,645	2,131
固定資産圧縮損	17,620	—
売上債権の増減額(△は増加)	△62,804	25,969
たな卸資産の増減額(△は増加)	123,737	41,387
未収入金の増減額(△は増加)	4,212	1,085
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,025	9,038
災害による損失	—	4,719
補助金収入	△17,620	—
その他	△58,541	74,192
小計	525,545	866,242
利息及び配当金の受取額	1,417	1,479
利息の支払額	△12,656	△11,820
災害による損失の支払額	—	△4,719
補助金の受取額	17,620	—
法人税等の支払額	△51,597	△65,314
営業活動によるキャッシュ・フロー	480,329	785,867
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△458,478	△335,198
有形固定資産の売却による収入	18,720	6,932
投資有価証券の取得による支出	△17	△17
貸付けによる支出	△8,600	△1,150
貸付金の回収による収入	2,051	3,801
ソフトウェアの取得による支出	△7,443	△7,533
その他	△2,528	235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△456,295	△332,930
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	430,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△381,264	△366,715
配当金の支払額	△20,633	△20,698
リース債務の返済による支出	△6,096	△7,243
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,006	△144,656
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	46,039	308,279
現金及び現金同等物の期首残高	572,569	618,608
現金及び現金同等物の期末残高	618,608	926,888

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大が会計上の見積りに与える影響)

新型コロナウイルス感染症の収束時期などを想定することは困難であるものの、現時点で同感染症による当社事業への影響は軽微であるため、翌連結会計年度以後の業績に与える影響は限定的であると仮定して会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントについて、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントから構成されており、「生産卸売事業」と「直販事業」の2つを報告セグメントとしております。

「生産卸売事業」は、主に産直型の生活協同組合や宅配会社向けに、鶏肉、冷凍加工食品、鶏卵および牛乳等の生産・販売をしております。「直販事業」は、当社の食品を中心とした食品と生活雑貨を会員向けに販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は各セグメントにおける製造原価の状況を勘案し、双方協議に基づいて取引を行っております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	4,730,487	1,059,517	5,790,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高	337,772	6,270	344,042
計	5,068,259	1,065,788	6,134,047
セグメント利益	382,313	30,470	412,784
セグメント資産	4,176,026	168,884	4,344,911
その他の項目			
減価償却費	338,509	11,398	349,908
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	382,946	8,643	391,589

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	4,984,321	1,433,321	6,417,643
セグメント間の内部売上高 又は振替高	418,938	7,612	426,551
計	5,403,260	1,440,934	6,844,194
セグメント利益	559,110	45,038	604,148
セグメント資産	4,108,087	211,348	4,319,435
その他の項目			
減価償却費	340,966	14,021	354,988
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	308,556	44,424	352,980

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,134,047	6,844,194
セグメント間取引消去	△344,042	△426,551
連結財務諸表の売上高	5,790,005	6,417,643

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	412,784	604,148
のれんの償却額	△3,648	△3,648
全社費用(注)	△314,689	△334,946
連結財務諸表の営業利益	94,446	265,554

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,344,911	4,319,435
全社資産(注)	737,451	1,059,059
連結財務諸表の資産合計	5,082,363	5,378,494

(注) 全社資産は、主に当社グループにおける余資運用資金(現金及び預金他)、長期投資資金(投資有価証券他)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計 年度	当連結会計 年度	前連結会計 年度	当連結会計 年度	前連結会計 年度	当連結会計 年度
減価償却費	349,908	354,988	19,473	21,243	369,381	376,231
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	391,589	352,980	21,622	27,663	413,212	380,643

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各セグメントに属さない本社の車両運搬具及びソフトウェア等の設備投資額であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	415.56円	460.17円
1株当たり当期純利益	17.23円	40.77円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	71,834	169,973
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益(千円)	71,834	169,973
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,169	4,169

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2021年5月14日開催の取締役会において、当社の連結子会社である有限会社あきかわ牛乳を、定時株主総会で承認することを前提に、吸収合併することを決議いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び当該事業の内容

- ① 結合当事企業の名称
 - (結合企業) 株式会社秋川牧園
 - (被結合企業) 有限会社あきかわ牛乳
- ② 事業の内容
 - (結合企業) 食品の製造、販売
 - (被結合企業) 牛乳及び乳製品の加工、販売

(2) 企業結合日

2021年7月1日(予定)

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式であり、有限会社あきかわ牛乳は合併により解散いたします。

(4) 結合後企業の名称

株式会社秋川牧園

(5) その他取引の概要に関する事項

有限会社あきかわ牛乳は、当社100%子会社として、主に牛乳及び乳製品の加工・販売を行ってまいりましたが、事業規模や組織体制を鑑み、当社グループにおける経営の効率化および組織運営の強化を目的に、吸収合併することといたしました。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理を行う予定であります。